

## 2020年度動物の行動と管理学会 総会報告

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大予防の観点から、対面形式による総会の開催は望ましくないと判断し、2020年度「動物の行動と管理学会」総会をメールにて開催した。

1) 2019年度活動報告について、以下のように承認した。

- ① 理事会（メール審議含む）、総会、研究発表会（会場：麻布大学）を開催した。
- ② 2名の会員（うち1名は辞退）に対して国際学会参加助成を行った。
- ③ 新学会のWebサイト、Facebookを立ち上げ、随時、情報を更新した。
- ④ ニュースレターを3回、発行した。
- ⑤ 学会誌「Animal Behaviour and Management」の55巻として、4号（183頁）を発行した。2019年度の掲載論文数は、総説1編、原著論文7編、短報1編、資料1編であった。
- ⑥ 14名の入会者があり、2020年3月1日現在の会員数は264名となった。
- ⑦ 2019年度一般会計決算、2019年度特別会計決算、2019年度会計監査報告

2) 2020年度事業計画について、以下のように承認した。

- ① 理事会、総会、研究発表会およびシンポジウムの開催
  - ・ 2020年9月14-18日に酪農学園大学において現地検討会、研究発表会、会員向けおよび一般公開シンポジウム、理事会・臨時総会ならびに夏の学校の開催を承認した。しかしながら、総会後に新型コロナウイルス感染症が拡大し、将来的な動向が不透明で準備に支障をきたすことから、その後の理事会においてこれらの計画を延期することとした。
- ② 国際連携、学会誌およびニュースレター、広報
  - ・ 国際応用動物行動学会派遣等基金によるISAE2020への参加助成を実施する。しかし、新型コロナウイルス感染拡大を受け、ISAE2020が1年延期されたため、本年度のISAE参加助成を取りやめた。なお、国際学会参加助成（口頭発表者向け）は引き続き、募集することとした。
  - ・ 学会誌「Animal Behaviour and Management 第56巻」を4号発行する。このうち、第1号と第3号については冊子体での印刷も予定する。
  - ・ 会員相互の親睦を図ることを目的として年3回(5月、10月、1月)を目標にニュースレターを発行する。
- ③ 2020年度一般会計予算、2020年度特別会計予算

## 2019年度決算(案)

項目	収入(円)			決算/予算 (%)	支出(円)		
	2019予算	2019決算			2019予算	2019決算	決算/予算 (%)
前年度繰越金	3,049,328	3,049,328	100.0	備品費	0	0	-
個人会費	1,044,000	912,000	87.4	消耗品費	15,000	4,000	26.7
法人会費	0	84,000	-	通信費	140,000	34,345	24.5
寄付金	0	0	-	会議費	0	0	-
雑収入	30,000	61,175	203.9	謝金	0	0	-
預金利息	0	10	-	雑費	20,000	0	0.0
				会誌発行費	890,000	714,033	80.2
				研究会・総会開催費	35,000	30,000	85.7
				シンポジウム開催費	125,000	112,072	89.7
				若手懸賞費	70,000	0	0.0
				予備費	2,828,328	0	0.0
合計	4,123,328	4,106,513	99.6	合計	4,123,328	894,450	21.7

収支差額 3,212,063

前年度繰越金: 旧学会(応用動物)¥543,501、旧学会(管理)¥2,505,827

個人会費: 納入額:2019年度分¥140,000、2020年度分¥692,000、2021年度分¥68,000、2022年度分¥4,000、2023年度分¥4,000、2024年度分¥4,000

法人会費: 納入額:2019年度分¥48,000、2020年度分¥36,000

雑収入: 著作権使用料¥41,175、旧学会(応用動物)一般会員費 ¥10,000、旧学会(管理)賛助会員費 ¥10,000

消耗品費: ファイル、封筒代 ¥520、学会印代 ¥3,480

通信費: レンタルサーバ料 ¥20,037、ドメイン更新料 ¥3,097、郵送料 ¥6,257、振込手数料 ¥4,352、印字サービス料 ¥602

会誌発行費: 冊子印刷代、発送手数料、送料、J-STAGE掲載データ作成料

研究会・総会開催費: 大会会場費(麻布大学)

シンポジウム開催費: シンポジウム会場費(麻布大学、岩手大学) ¥6,542、麻布大学シンポジウム宅配便 ¥2,810、

岩手大学シンポジウムパネラー旅費 ¥102,720

若手懸賞費: 2019年度優秀発表賞金は2020年度に支出、国際学会参加助成制度は利用なしのため支出ゼロ

予備費: 予算は2021年度までの事業予算として確保している旧学会繰越金分(約195万円)を含む

## 動物の行動と管理学会 特別会計 2019予算

国際応用動物行動学会派遣等基金 (設立 2016/03/31、引継 2019/03/31、当初 2,451,034円)

項目	収入(円)	支出(円)
前年度繰越金	2,351,285	研究発表者派遣補助 100,000
雑収入	20	事務費 1,000
合計	2,351,305	合計 101,000

2019年度末基金残高(計画) 2,250,305

雑収入 利子  
事務費 振込手数料

## 動物の行動と管理学会 特別会計 2019決算(案)

2020/2/29

項目	収入(円)	支出(円)
前年度繰越金	2,351,285	研究発表者派遣補助 50,000
雑収入	20	事務費 0
合計	2,351,305	合計 50,000

2019年度末基金残高 2,301,305

## 動物の行動と管理学会 特別会計 2020予算(案)

国際応用動物行動学会派遣等基金 (設立 2016/03/31、引継 2019/03/31、当初 2,451,034円)

項目	収入(円)	支出(円)
前年度繰越金	2,301,305	研究発表者派遣補助 100,000
雑収入	20	事務費 1,000
合計	2,301,325	合計 101,000

2019年度末基金残高(計画) 2,200,325

2020年3月17日

2020年3月17日

動物の行動と管理学会  
会長 矢用 健一 様

動物の行動と管理学会  
会長 矢用 健一 様

動物の行動と管理学会

監事 安江 健



動物の行動と管理学会

監事 安江 健



監事監査意見書

監事監査意見書

2019年度動物の行動と管理学会 一般会計収支決算について、厳正に監査を行った結果、その執行は適正であり、提出の通り相違ないことを確認できた。

2019年度動物の行動と管理学会 特別会計収支決算について、厳正に監査を行った結果、その執行は適正であり、提出の通り相違ないことを確認できた。

2020年3月24日

2020年3月24日

動物の行動と管理学会  
会長 矢用 健一 様

動物の行動と管理学会  
会長 矢用 健一 様

動物の行動と管理学会

監事 山田 明央



動物の行動と管理学会

監事 山田 明央



監事監査意見書

監事監査意見書

2019年度動物の行動と管理学会 一般会計収支決算について、厳正に監査を行った結果、その執行は適正であり、提出の通り相違ないことを確認できた。

2019年度動物の行動と管理学会 特別会計収支決算について、厳正に監査を行った結果、その執行は適正であり、提出の通り相違ないことを確認できた。

2020年度予算(案)

項目	収入(円)			2020/2019 (%)	支出(円)		
	2020予算	2019予算			2020予算	2019予算	2020/2019 (%)
前年度繰越金	3,212,063	3,049,328	105	備品費	-	-	-
個人会費	1,040,000	1,044,000	100	消耗品費	15,000	15,000	100
法人会費	84,000	-	-	通信費	100,000	140,000	71
寄付金	0	-	-	会議費	-	-	-
雑収入	40,000	30,000	133	謝金	-	-	-
預金利子	10	-	-	雑費	20,000	20,000	100
				会誌発行費	840,000	890,000	94
				研究会・総会開催費	165,000	35,000	471
				シンポジウム開催費	920,000	125,000	736
				若手懸賞費	74,000	70,000	106
				予備費	2,242,073	2,828,328	79
合計	4,376,073	4,123,328	106	合計	4,376,073	4,123,328	106

前年度繰越金: 3,212,063円

個人会費: 260名 × 4,000円にて試算 2020年3月1日現在会員数(2020年度入会手続き済みの3名を含む)

法人会費: 7法人 × 12,000円(3口分)にて試算 2020年3月1日現在会員数

雑収入: 著作権使用料など

消耗品費: ファイル、封筒代など

通信費: サーバー使用料、郵送料など

会誌発行費: 冊子印刷代、発送手数料、送料、J-STAGE掲載データ作成料

(2019年度決算額に加え、3号も印刷・発送することに伴う費用を105,000円、法人会員へ冊子体を送付することに伴う費用を20,000円として試算)

研究会・総会開催費: 大会経費(2020年酪農学園大学)35,000円、独立開催補助120,000円、資料コピー代など10,000円

シンポジウム開催費: 企画に係る経費(2020年酪農学園大学のシンポジウム150,000円×2件、現地検討会320,000円、夏の学校300,000円にて試算)

若手懸賞費: 2020年度優秀発表賞4,000円×5名、2019年度優秀発表賞4,000円×1名、国際学会参加助成制度50,000円×1名にて試算

予備費: 各支出への予備、未設定項目への支出(2021年度の事業に850,000円程度確保)

6) その他

- ・ 青山副会長から 2021 年度大会は、4 学会（日本比較生理生化学会・日本動物心理学会・日本動物行動学会・動物の行動と管理学会）連携大会とする提案があり、承認した。
- ・ なお、a) 日程は 2021 年 10 月 29 日（金）から 31 日（日）までの 3 日間とし、会場は北海道大学とすること、b) 4 学会の連携大会として、会場と日程を共有するが、総会・発表スタイル・受付は各学会のルールに従って進めること、c) プログラムを調整し時間割の共通化によって相互参加の利便をはかるが、原則的に 4 学会の企画を同時並行に走らせること、d) 参加費は 5,000 円、懇親会費を 5,000 円（いずれも一般、事前登録者）のように共通化し、学生（院生）の参加費を安くするが、その金額は今後検討すること、および学部学生の参加費は無料とするとの提案もあり、いずれも承認した。